



2020年5月15日

各位

会社名 旭ダイヤモンド工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 片岡 和喜
(コード番号 6140 東証第1部)
問合せ先 執行役員管理本部長 小浦 雅美
TEL (03) 3222-6311

**連結業績予想値と実績値の差異及び個別業績と前期実績値の差異、
並びに特別損失の計上に関するお知らせ**

2020年2月6日に公表しました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想値と、本日公表の実績値との差異、及び2020年3月期の個別業績と前期実績との差異が生じたので、お知らせいたします。

また、特別損失の計上を下記のとおり、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 35,650	百万円 330	百万円 680	百万円 670	円 銭 12.07
実績値(B)	35,304	294	591	△ 340	△ 6.13
増減額(B-A)	△ 345	△ 35	△ 88	△ 1,010	—
増減率(%)	△ 1.0	△ 10.7	△ 13.0	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	41,046	2,563	3,108	2,321	41.76

(差異の理由)

2020年3月期第4四半期連結会計期間において、売上高については概ね予想通りに推移しましたが、当社が所有する千葉鶴舞工場及び技術研究所の建物に係る減損損失、及び旭ダイヤモンドインダストリアルヨーロッパ SAS の再建計画に伴う損失として事業構造改善引当金繰入額を特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想から大きく減額いたしました。

2. 2020年3月期通期個別業績と前期実績値の差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (2019年3月期)	百万円 31,964	百万円 1,494	百万円 2,059	百万円 1,684	円 銭 30.31
実績値(B)	27,740	△ 65	596	332	5.99
増減額(B-A)	△ 4,223	△ 1,559	△ 1,462	△ 1,352	—
増減率(%)	△ 13.2	—	△ 71.0	△ 80.3	—

(差異の理由)

2020年3月期は、電子・半導体業界向け売上高が前年度から続く生産減の影響を受け、前期を下回る結果となり、また輸送機器業界、機械業界向け関連工具も前期を下回る結果となりました。利益面におきましても、売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益ともに減額になりました。また千葉鶴舞工場及び技術研究所の建物に係る減損損失を特別損失に計上したため、当期純利益も減額いたしました。

3. 特別損失の計上

(1) 固定資産の減損損失

①減損損失を計上した資産グループの概要及び減損損失の金額

場所	用途	種類	金額
千葉鶴舞工場及び技術研究所 (千葉県市原市)	建物	建物及び構築物、 土地	639 百万円

②減損損失を認識するに至った経緯

千葉工場建設に伴い、移転する千葉鶴舞工場及び技術研究所の建物について将来の使用が見込まれなくなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

(2) 連結子会社の事業構造改善引当金繰入額

連結子会社である旭ダイヤモンドインダストリアルヨーロッパ SAS の再建計画に伴う早期退職による割増退職金等の費用 440 百万円を、事業構造改善引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。

以上